

令和5年度第1回 立川市入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和5年5月9日（火） 立川市役所 104 会議室		
出席委員氏名	小畑徳彦 委員長、榎本孝芳 委員、加藤正太 委員		
審議対象期間	令和4年11月21日～令和5年3月31日		
抽出案件	工事 6件 委託 0件 総件数 6件	（備考）	
うち一般競争入札	工事 5件 委託 0件 総件数 5件		
うち特命随意契約	工事 1件 委託 0件 総件数 1件		
<p>次 第</p> <p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 審議</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 令和4年度工事契約抽出案件について(令和4年11月21日～令和5年3月31日)</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 報 告</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 令和4年度工事契約の状況について</p> <p style="margin-left: 40px;">イ 工事契約の推移（平成30年度～令和4年度）について</p> <p style="margin-left: 40px;">ウ 令和4年度変動型最低制限価格(工事)について</p> <p style="margin-left: 40px;">エ 入札・契約制度の改革について</p> <p>3 その他</p>			
委員からの意見、質問及びそれに対する回答			
意見・質問		回 答	
<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 審議</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 令和4年度工事契約抽出案件について (令和4年11月21日から令和5年3月31日まで)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・対象期間に入札された、総価契約（以下、総価）・一般競争入札（以下、競争）の工事契約について、令和3年度の同一期間との比較結果を説明する。 ・総価・競争の契約件数は20件で令和3年度と比較して17件減少した。平均参加者数は4.0社で0.1社増加、単純平均落札率は82.12%から84.46%で2.34ポイント増加した。 ・変動型最低制限価格は全件が算定対象で、算定となった入札は12件で、算定率は60.0%であった。地域要件を市内本店としたものは11件、落札者の所在区分では市内が13件、市内受注率は65.0%であった。くじ引きになった案件は1件、 ・落札率95%以上の総価・競争分5件について説明する。 	

<p>* 落札率 95%以上 5 件のうち 4 件が 辞退等があった結果、参加者 1 者 となっている。特殊性のある工事 なのか。それとも、別の要因が考 えられるのか。</p> <p>* 入札の結果、無効となっているも のが多くみられる。</p> <p>(2) 報告</p> <p>ア 工事契約の推移（平成 30 年度 から令和 4 年度まで）について</p> <p>イ 令和 4 年度工事契約の状況に ついて</p>	<p>「新共同調理場に伴う立川市立川第四中学校改修工 事（昇降機設備）」、「新共同調理場に伴う立川市 立第四小学校ほか 1 校改修工事」、「立川公園根川 緑道水質浄化施設等設置工事（土木）」、「立川駅 南口デッキ施設補修工事」、「立川市立大山小学校 特別支援学級新設工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 案件の性質上、施工上の制約が多いことが、参加 者の減少につながったと考えられる。 ・ 「立川市立立川第七中学校現体育館解体工事」に おける工事内訳書の記載内容の不備による無効。 無効となった参加者が多いことから、解体工事に ついては、工事内訳書の不備を防ぐよう、今年度 より対応した。 ・ 入札中止・不調対応以外の総価・特命随意契約（以 下、特命）1 件について説明する。 「公園維持整備工事その 2」 ・ 平成 30 年度から令和 4 年度までの工事契約の推 移について説明する。 ・ 契約件数は、過去 5 年で最低となっている。 ・ 単純平均落札率は、ここ数年横ばいとなっている。 ・ 平均参加者数は、減少傾向となっている。 ・ 令和 4 年度の工事契約状況について、3 年度との 比較を説明する。 ・ 総価・競争の契約件数は 79 件で令和 3 年度と比 較して 12 件減少した。 ・ 総価・競争の平均参加者数は、3.6 社で 0.5 社減
---	--

<p>ウ 令和4年度変動型最低制限価格(工事)について</p> <p>* 業種によって、落札率に差が見られる。</p> <p>エ入札・契約制度の改革について</p> <p>* 国の談合情報対応マニュアルには、談合情報があった場合の調査方法に問題がある。 立川市は、調査方法を改めたということか。</p> <p>3 その他</p>	<p>少、単純平均落札率は81.00%から83.97%で2.97ポイント増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変動型最低制限価格は、総価・競争では、全件(79件)が算定対象で算定となった入札は49件、算定率は62.0%であった。算定案件の単純平均落札率は77.92%、未算定は93.85%であった。 ・地域別契約件数は、総価・競争では、市内業者が79件中48件で、市内受注率は70%から66%と約4ポイント下落した。受注者別の平均落札率は市内が83.39%、市外が84.64%であった。 ・総価・競争では、令和4年度は1億円以上の工事の参加者数が少なく、落札率も高かった。3年度との比較では、全体的に横ばいであった。 ・総価・競争で、契約件数が複数あった業種について、落札率の高い順に並べると90%以上が8業種であった。令和3年度は、2業種であった。 <p>・プロポーザル方式の審査基準の検証、談合情報等対応マニュアルの改訂、変動型最低制限価格の運用見直しについて報告する。</p> <p>・今年度より改めた。</p> <p>・次回の開催は令和5年7月6日(木)午前10時</p>
--	---